

他自治体の庁舎移転事例における周辺への影響

市区名	庁舎跡地の 利用方法	跡地における 主な施設・設備	庁舎 移転時期	跡地利用の 竣工時期	跡地への 交通	【参考】 周辺地区の小売業 年間販売額*	関係者へのヒアリング結果等
						平成14年→19年の変化 (百万円)	ヒアリング内容
目黒区	THE目黒四季 レジデンス	・民間分譲マンション(176戸) ・中央町さくらプラザ(研修室、会 議室、レクリエーションホール)	平成15年	平成17年	学芸大学駅 より 徒歩10分	3,472→4,104 (約18%増)	●ヒアリング対象者：目黒区文化・スポーツ部長(当時の担当課長) ・庁舎跡地を売却する際、複数の民間事業者に対して公募提案型プロポーザルを実施し、まちなみとの調和・地域への貢献・緑化・環境配慮・オープンスペースの確保などの観点に価格を加味し、業者を選定した。 ・庁舎があった頃と比較すると、 <u>トータルの人通りはあまり変わっていないように思うが、客層は不特定来場者から特定の住人へ変わった。</u> ・全体的な雰囲気は大きく変わっていない。 ・地域活性化のため、1階、地下1階に、「中央町さくらプラザ」として、中央町社会教育館と五本木住区センターを配置している。
大田区	大田文化の森 (生涯学習施設)	・文化の森ホール(259席) ・情報館(図書コーナー、マルチメ ディアコーナー) ・集会室 ・創作工房(調理・美術・工芸) ・音楽スタジオ ・スポーツスタジオ など	平成11年	平成13年	大森駅より バス7分	15,976→9,875 (約38%減)	●ヒアリング対象者：現地隣接商店会(春日橋くすの木通り商店会) ・庁舎が移転し、文化施設が出来たことで客数は減ったと感じている。 ・庁舎のあったところは職員や区役所に営業に来る人がお金を落として行ったが、 <u>現在の施設利用者はほとんどお金を落とさない。</u> ・加盟店が当初35店→現在は28店になった。 ・バスの本数も減り、活気がなくなった。 ・庁舎の移転には反対していたので、跡地施設への要望は特に行わなかった。 ・庁舎の移転は、 <u>周辺の商業者にとっては重要な問題。</u> 跡地利用には充分配慮してほしい。
足立区	あだち産業芸術 プラザ (東京芸術セン ター+あだち産 業センター)	【東京芸術センター】 ・劇場 ・レストラン ・SOHO(住宅兼事務所、96戸) ・オフィス、会議室 ・スタジオ ・フィットネスクラブ ・ハローワーク足立 ・足立区創業支援施設 【あだち産業センター】 ・IT支援室 ・商工会議所足立支部 ・産業交流室(講習室) ・中小企業支援課、各種相談窓口 ・産業情報室・産業展示室	平成8年	平成18年	北千住駅 より 徒歩7分	24,687→57,070 (約131%増)	●ヒアリング対象者：足立区政策課担当者 ・北千住駅界隈は西口で再開発が行われた。また、平成17年のつくばエクスプレスが開通した。 ・足立区による大学誘致活動(下記参照)により、 <u>若者の賑わいが増加した。</u> _平成18年：旧千寿小学校跡地に東京芸術大学(音楽学部音楽環境創造科)が開学。 _平成19年：足立区立第二中学校跡地に東京未来大学が開学。 _平成22年：旧元宿小学校跡地に帝京科学大学(千住キャンパス)が開学。 _平成24年：東口のJT社宅跡地に東京電機大学が開学予定。 ・上記、複数の要因により、北千住駅周辺の商店街に活気が出てきたと考えられ、 <u>あだち産業芸術プラザによる影響がどれくらいかはわからない。</u>
立川市	名称未定 (市施設の民間 による活用)	・屋外イベントスペース ・子育て支援ゾーン ・文化・芸術活動ゾーン ・市民活動ゾーン ・教育関連ゾーン(教育センター) ・共同で使える会議室、行政窓口喫 茶コーナー など	平成22年	整備中	立川駅より 徒歩12分	20,103→21,230 (約6%増)	●ヒアリング対象者：立川市産業振興課長 ・庁舎移転後それほど経過していないが、 <u>庁舎跡地周辺の来街者数はそれほど減少していないと思う。</u> 市文化会館が稼働しているためもあるかもしれない。 ・ <u>閉店する店舗も見られるが、昨今の不況もあり、一概に庁舎移転が原因とは言いがたいのではないかと。</u>

※東京都商業統計調査・町丁目別集計より、当該跡地の所在する町名の合計値を示した。(例：町田市庁舎の場合、中町1丁目に所在→中町1~4丁目の合計値)